

事業戦略を実現するCSRの取り組み
製造力の強化に向けて

パワーを集結して実現する「世界一優良なる時計製造工場」

シチズン時計 マニユファクチャリング誕生

シチズン時計マニユファクチャリング株式会社は、シチズン平和時計、シチズン東北、シチズンマイクロ、シチズン時計ミヨタ、シチズン時計河口湖とシチズン時計の製造部門が合併してできた会社です。時計製造機能を一つの会社を集結させることでノウハウの共有をはかり、製造機能を強化させ、真のグローバル企業の実現に向けて走り始めました。

荻原 秀雄

シチズン時計マニユファクチャリング
代表取締役社長



CITIZEN

Micro HumanTech

スローガン

世界一優良なる
時計製造工場の実現

国内製造力の強化にむけて

シチズン時計グループの時計製造部門は、今までグループ間で競争することで成長してきました。しかし、競争関係にあることで同じグループ企業であるにも関わらず、ノウハウの共有や効率的な製造体制、人員配置が行われていないというマイナスな要因もあり、さらなる成長のためには、そのような状況を打破する必要があるのではないかと考えました。そこで、時計事業グループを一つに統合することで、拡大する世界のメーカーと競争できる体制を構築するべく、この度の組織改編に取り組んだのです。

世界一を実現する人材育成、技術の伝承

「世界一」をめざす当社においては、人材育成は最も重要なテーマの一つです。時計は先端技術を駆使したハイテク製品の面と、その道を極めた職人芸の世界であり、工芸品、美術品の要素との融合です。そのため、時代の先端を追求する技術力と卓越した匠の技術の両面が必要となります。具体的には時計学校を強化し、全社員がその道のプロになることを目指していきます。また、技術者・技能者をつなげ、その才能を発揮してもらえる組織をつくるのも人です。そのようなマネジメント力を持った人材、リーダーシップを発揮できる人材の育成にも積極的に取り組んでいきます。

経営理念

社員とともに夢を実現する
「真のいい会社」を目指します。

統合によりもたらされるメリット

独自のノウハウを蓄積してきたグループ会社が合併することで、各社の良い取り組みを会社全体で共有することができるようになりました。また、従来取り組むことができなかった生産体制の最適配置や集約化による効率化、人材適正配置、情報伝達のスピード化なども可能になり、数値目標などの達成が最大化・最速化されることが期待できます。シチズン時計マニュファクチャリングを『世界一優良なる時計製造工場』にするという全社員共有の目標を立てることにより、全社員の意思を結集させ、グループをあげて「真のグローバル企業」をめざしていきます。

すべてはここで働く「従業員」のため

誕生したばかりの当社が『世界一優良な時計製造工場』になるための、すべてのベースには「従業員」がいます。働いている「従業員」が幸せを感じる会社にすることが私の一番の目標であり、世界一の実現につながると信じています。従業員が主役となり輝ける会社を、いかにわれわれ経営陣が提供できるかということが重要なのです。

50年間別々の会社で成長してきた2,000人が、同じ目標をもって仕事をするというのは簡単なことではありません。だからこそ一人ひとりが前向きに挑戦できる社風をつくり、仕事の面だけでなく、従業員の幸せにおいても世界一の会社をめざしていきたいと思えます。